



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年4月18日 第2332回例会 VOL. 49 No. 37

■司 会 副SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 副会長 佐藤 真吾

■斉 唱 手に手つないで

■出席報告

| | | | |
|--------|--------|--------|------|
| 会員数 | 31名 | 本日の出席数 | 23名 |
| 本日の出席率 | 85.19% | 修正出席率 | 100% |

■本日の欠席者

大川、二宮（麻）

■恵送を受けた週報

横浜瀬谷ロータリークラブ

■皆出席者表彰



青木 邦弘 10年

■会長報告

1) 昨日、滝澤会長から携帯メールが届きましたのでご披露させていただきます。

「お久しぶりです。やっと一般病室に戻ってきました。手術は成功いたしました。これか

らリハビリです。連休前に退院できる予定です。ロータリークラブをよろしくお願ひいたします。」との事でした。手術の成功、本当に良かったです。一日も早い回復をお祈りしています。

4/25(水)例会・次年度クラブ協議会終了後にお見舞いに伺いたいと思います。ご都合の付く会員は、目黒会員にお声掛け下さい。

2) 4/14(土)に毎年恒例のガールスカウト102団とのゴミ拾いが行われました。ご参加いただいた会員の皆様お疲れ様でした。

このゴミ拾いは、ガールスカウト102団が発団して以来続けられていて、今年で23回目となるそうです。

当日の参加者は、スカウトが8名、スタッフ・父兄が5名、当クラブからは4名の参加でした。一昨年、青少年奉仕委員長として担当した時に、団員長の吉田さんが、「スカウトの数が年々減ってきている。存続に危機感を感じています。」と話していらっしゃいましたが、8名の参加で、少し増えたのかなと感じました。

当クラブは、ガールスカウトへの支援として、毎年活動費として2万円をお渡ししています。次世代を担う子供たちの健全な育成に少しでも役に立てるよう、これからも継続していければと考えます。



ガールスカウトとのクリーン作戦の様子



3) 親睦委員会より情報集会の開催が案内されていると思います。テーマは「50周年記念行事・会員増強」です。各グループリーダーは、開催日時・場所が決まりましたらご報告をお願いします。自分のグループに参加できない会員は、他のグループにご参加をお願いします。特に50周年記念行事について、会員の皆様から多くのご意見を頂きたいので、ご協力よろしくお願いします。

4) メジャーリーグでは大谷翔平選手(ロサンゼルス・エンゼルス所属)が大活躍です。

1試合12奪三振に3試合連続本塁打と、投打とも最高のスタートを切り、「Sho Time」という愛称で呼ばれるなど、本場アメリカの野球ファンのハートを一気に掴んだようです。

そんな大谷選手が、この旭区に所縁がある事を皆さんはご存知ですか？ 実は、大谷選手のお母さんの実家が鶴ヶ峰で、実家に行くと、家族でよく近くの神社にお参りしていたそうです。その近くの神社というのが、「鶴ヶ峰稲荷神社」。鶴ヶ峰公園の中に鎮座する小さな神社です。大谷選手の日本のプロ野球入りやメジャーリーグ行きの夢を叶えたともっばらの噂で、今ではこの噂を聞きつけ、「パワースポット」になっているとか。会員の皆さんも一度参拝されてみてはいかがでしょうか。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のおしらせ

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 5月1日(火)休会

■国際奉仕委員会

青木 邦弘

4月8日、旭・日本語ボランティアとお花見ツアー IN 山梨に出かけました。

外国人38名(内、子ども5名)とボランティア支援者11名、旭RCから2名、合計51名が参加しました。

忍野八海を見学、桜が満開の河口湖畔で食事、浅間神社、ワインセラーを見学、7時30分鶴ヶ峰着、解散しました。外国人には桜、神社に関する文化について教える事が出来ました。感想文が後日届きます。

岡田会員からはドーナツの差し入れを頂き、又、宋会員には大変お世話になりました。有難うございました。

■塩麻里奈さんのレポート3月

こんにちは。台湾派遣生の塩麻里奈です。3月は残りの日数の少なさに驚きながらも中国語の勉強を中心に努力しました。

まず、お知らせですが、帰国日が6月30日に決定しました。台湾は6月2日に開催される「さよならパーティー」以降であればいつでも帰国可能ですが、6月2日以降もロータリーの活動に参加できるため、それによって帰国日が変わってきます。私は最後の台湾一周旅行に参加する予定のため帰国が6月の下旬になりました。台湾に来ている留学生に限れば、それほど早い帰国ではありませんが2590地区の派遣生の中だと私が一番早く帰国する予定です。月例レポートを書くたびにもう1ヶ月が終わったのか、と時の流れの速さに驚きます。残り3ヶ月になった留学生活も有意義なものにしていきたいです。

さて、3月は1日から3日までロータリーの旅行がありました。台北から少し離れた台東というところへ行きました。台北とは違い、自然が多く空気が綺麗な地域でした。台東に行った理由は、台東の伝統的な新年の行事を体験するためでした。台湾は旧正月を祝う、と前のレポートでも報告しましたが、そのお祭りが台東であり台北の地区と台東の地区の留学生が合同で体験しに行きました。

事前に渡されたしおりに耳栓とマスクを忘れずに持参するように書いてありましたが、私は耳栓は持っていませんし、不要なのは

ないかと勝手に判断して持って行きませんでした。実際に何のために使うかよく分かりませんでしたので、本当に必要だったのかな？と思いながら旅行を楽しんでいました。そして今回台東に来た目的である新年のお祭りの会場に着きました。到着してすぐに耳栓を持参しなかったことを後悔しました。このお祭りはお神輿の上に乗ってる人をめがけて大勢の人が爆竹を投げるお祭りだったのです。幸いにも、ロータリーの人たちが、忘れた人のために耳栓などを用意してくださったので助かりました。そのほかにもゴーグルや帽子、軍手やタオルなどが配られ身を守る支度をしてくださいと言われました。そんなに危険なのかと思いましたが全部身につけてお祭りに参加しました。お祭りが始まると、四方八方から爆竹が飛んできてかなり怖い思いをしましたが、私も投げるように言われ、言われるまま3個爆竹を投げました。軍手をしてたのですが持っていた手を少し火傷するほど熱くて驚きました。ひと段落つき、留学生たちが集められると、服に穴が空いている子や髪の毛が燃えてしまった子などがいて、私は比較的軽症で済んでよかったと思えました。このお祭りはお神輿に乗っている人をお金の神様に見立てて今年の仕事や商売の金運を上げるために実施しているそうです。神様に爆竹なんて投げつけたら逆にバチが当たりそうなものだと思いますが、台湾ではお祝い事の時に爆竹を鳴らすので危険なものではなく神を讃えるために使っているのだ知りました。台東旅行では普段生活している台北では体験できない台湾の伝統的なことをいろいろ見ることができて、とても良い経験になりました。

今月、私にとってはかなり衝撃的なことが起こりました。台北には二つ地区があり、両地区の多くの留学生がよくパーティーをしています。私も一度行ったことがあるのですが正直、4Dルールを守っている留学生がほとんどいなかったためそれからは一切行っていませんでした。パーティーに行っても自分だけ4Dルールを守れば良いと言われればその通りかもしれませんが、彼らと一緒に行動すれば、同じように疑われると思えたので行きませんでした。ただ、ほとんどの留学生がパーティーに参加していたので、行かないと友達があまりできなかつたり、留学生同士の話題がパーティーでの話になると疎外感を感じた

りしてパーティーに参加するべきなのかと悩んだりもしました。しかし今月の中旬に、台北の留学生のトークグループにある男子留学生が「助けてくれ！」というメッセージを投稿しました。隣の地区の留学生ですので、よく知りませんが、話によるとパーティーをしているところにロータリーの人が突然現れて、パーティーをしている留学生たちの写真を撮ったそうです。留学生たちはみんな走って逃げたそうですが、その男子留学生はバッグを置き忘れたために、名前がばれ、お酒を飲んでいて疑いで結局強制送還されてしまいました。私は彼らと距離を置いておいて良かったと思えました。私はパーティーに参加している人を非難するつもりはありませんが、「李下に冠を正さず」と言うように、疑われることはしないようにしようと改めて思いました。

冬休みも終わり中国語のクラスが再開しました。3月からは週に一回だけになってしまい、自分で努力次第で中国語の能力が決まるという環境になりました。現在トップのクラスにいますが、ちゃんと予習復習をしないとついていけないぐらい進むスピードが速いです。そんな中、中国語の能力を測定するテストがあると言われました。toefl というテストでリスニングとライティングで自分の中国語の能力を測るテストです。A、B、Cの三種類のテストがあります。まだ来て一年も経たないのでほとんどの留学生が一番簡単なAのテストを受けます。私もAだけの予定でしたが、先生にあなたは頑張ればBも合格できるかもしれないから試しに受けてみるように言われました。過去の問題などを見て頑張れば合格できるなら頑張ってみようかなと思ひ、受けることに決めました。テストは5月5日にあり1日に二つのテストを受けるので集中力が必要ですが、一生懸命勉強して、難易度の高いテストに合格できるように頑張ります。

あまり写真を撮らないので、レポートにはほとんど書いていなかったのですがよくロータリーの活動の後に留学生たちと交流する時間を持ちます。この前は一緒にお寿司を食べに行きました。日本のお寿司と味はほとんど変わらず美味しいのですが、生の魚を食べる文化のない国の人たちはあまり好きではないのではないかと心配していたのですが私の倍以上食べている留学生もいて驚きました。日本食はヘルシーで美味しいから好きだという

留学生もいましたので、出身国を褒められ、うれしく感じました。

さて、台湾には色々な食べ物がありますが臭豆腐という食べ物が有名です。字の通りお店の前を通ると独特の匂いがします。台湾に来たばかりの時に一回食べたことがあるのですが、あまり好きな味ではなかったのですが以降食べていませんでした。しかし、台湾に来てもう半年以上が経ち臭豆腐の匂いにもなれましたのでもう一度食べてみたいと思っていますと偶然臭豆腐のお店の方に並んでいるホストマザーを見つけました。食べてみたいがと聞かれたので、食べたいと言って買ってもらいました。家で食べたところ、以前食べた時の感覚と全然違い、とても美味しく感じました。お店が違うので味が違うというのもあると思いますが、だんだん台湾の味が好きになってるのかな？と思います。

今月はあまり学校の友達と交流できませんでしたが、来月は修学旅行に参加する予定なのでもっと仲良くなれるように頑張ります。残り3ヶ月となってしまいましたが最後までいろんなことに挑戦し楽しく学んでいきたいです。最後まで読んでくださってありがとうございました。

台東旅行にて 友達が写真を撮ってくれました。すごくいい天気気で気持ちよかったです。

■プログラム変更について 市川 慎二

次週4/25(水)体験例会となります。又、プログラム変更がございます。5/9～クラブフォーラム、6/13～青少年奉仕フォーラム、新川会員となります。宜しくお願いします。

■雑誌委員会 新川 尚

「ロータリーの友4月号紹介」

○横組み

・RI 会長メッセージ

環境問題と植樹に関するメッセージとなっています。

P. 7～

ポリオワクチンのインドでの投与の記事。「日本国内で2017年に生まれた子どもの数は、約94万人。この子どもたちに不活化ポリオワクチンを含む4種混合ワクチンを4回予防接種します。1回分のワクチンで、不活化ポリオワクチンだけの代金が約5,000円ですから、一人につき約2万円、つまり日本全体では188億円余りのお金が必要です。ポリオが撲滅されると毎年これだけのお金が浮きます。

日本経済も助かるのです。」

P. 12～

特集メイクアップのすすめ

東京 RC は流石のビジター受け入れ体制が出来ています。

P. 31～

CLUB INNOVATION

クラブ会員をいくつかの種類に分類し、それぞれ別の会費を設定して会員増強に繋げた。

○縦組み

P. 19～

卓話の泉「慢性腰痛について」

慢性腰痛は強い恐怖心が幻の痛みをつくっているという記事

P. 20～

俳壇 吉原会員の投稿

「腰痛を だめすかして 去年今年」

■二宮 登会員より報告

神奈川県黒岩知事主催の「3カ国の看護師、介護福祉候補者激励会」に出席してまいりました。黒岩知事から一人一人に感謝状が贈呈され、候補者が日本語で現在までの研修成果を発表しました。

①国家試験にパスしたら、日本で働きたい、その為には日本文化、一般家庭生活の体験と地域の人々との交流を深めていきたいと話していた。

②全員が日本語は難しい、特に漢字の専門用語の理解に苦しむと発表していました。

③日本は2025年には年寄りの10人に6人は75歳を迎え、新たな時代となります。



写真一番下(着席)の段:左から五番目

ベトナム公使 グエン・チュオン・ソン

インドネシア大使 アリフィン・ヌスリフ

黒岩知事、

フィリピン大使 ホセ・C・ラウレル

外務省 川口正樹 外務省石川義久

一人置いて 二宮会員

■ 5 分間情報

佐藤 真吾

○今日は何の日？

4月18日は「発明の日」

なぜ4月18日が「発明の日」なのかというと、1885（明治18）年4月18日に現在の「特許法」の元となる「専売特許条例」が公布されたことが由来となっています。今日は「発明の日」にちなんで「発明の雑学」その中でも「日本人によって開発された意外なもの」についてご紹介したいと思います。

<インスタントラーメン>

実はインスタントラーメンは、日本人によって発明されたのをご存知でしょうか？

日本初のインスタントラーメンは、日清食品から発売された、皆さんがよくご存知の「チキンラーメン」です。これは、日清食品の創業者である安藤百福（ももふく）さんが開発したもので、チキンラーメンの開発は、安藤さんの敷地内の作業小屋で行われ、苦勞の末に完成させたものなのです。安藤さんは、とある日の夕食に出された天ぷらをヒントにして「瞬間油熱乾燥法」を考案しました。「瞬間油熱乾燥法」とは油の熱で食品を乾かす方法で、これが採用された事によってインスタントラーメンが誕生したのです。

2018年後期のNHK朝の連続ドラマ小説「まんぷく」は、安藤百福さんと妻・仁子（まさこ）さんの半生をモデルにした作品となっています。

<カラオケ>

カラオケも日本で発明されたもので、初登場したのは1971（昭和46）年のことでした。「カラオケ」という言葉は「空オーケストラ」を略して出来た言葉で、井上大祐さんによって発明されました。

カラオケと言えば、安い料金で長時間遊べることから、学生からお年寄りまで幅広い年代にウケていますが、カラオケが登場した当時は、5分で100円という割高な値段設定だったそうです。

<ウォシュレット>

日本のトイレ事情がとても整備されているため、海外旅行に行った時に、海外のトイレ事情に驚いた事はありませんか？

国によっては使用したトイレトーパーを水に流さなかったり、そもそもトイレト

ーパーを使わない国もあります。

海外の人が日本を訪れてびっくりするものの一つとして「ウォシュレット」があります。もともとウォシュレットの原型となるものは、アメリカの医療用製品として作られていましたが、噴射位置も不安定で、温度調節もきかずに火傷をする人もいたそうです。

そこで、日本人によって開発・改良が進められて発明されたのが「ウォシュレット」なのでした。日本に旅行に来て、ウォシュレットにハマってしまい、自分の国へ帰ってもウォシュレットを使いたがる外国人旅行者が多いそうです。

■ニコニコBOX（会員敬称略）

佐藤 真吾／①滝澤会長の手術成功を祝して。一日も早い回復をお祈りしています。②倉本さん、卓話よろしくお祈りします。

田川 富男／滝澤会長も順調に回復との事、5月の例会の出席に向けてリハビリに頑張っているようで安心いたしました。

倉本 宏昭／今日は卓話当番です。昔の小学生の頃の話をしたと思いますが、あまりおもしろい話ではありませんからお疲れの方はゆっくりお休みください。

二宮 登／神奈川県黒岩知事主催のフィリピン、ベトナム、インドネシア3カ国の看護師、介護福祉候補者激励会に出席して参りました。青木 邦弘／皆出席をいただきました。

宋 謹衣／皆様、お久しぶりです。会わなかったこの2週間にいろいろ良い事がありました。本当に皆様に報告したかったのですが、自分の中でまとまらず、次回、時間がありましたら報告します。宜しくお願いします。

関口 友宏／家内の誕生祝いに綺麗な花を頂き、ありがとうございました。

齋藤 善孝／①佐藤真吾さん、5分間情報宜しくお願いします。②倉本さん、卓話楽しみです。

吉原 則光／天候不順のところの例会となりました。倉本さん、卓話よろしくお祈りします。

北澤 正浩／倉本さん、卓話よろしくお祈りします。

内田 敏／倉本さん、本日の卓話楽しみです！

須藤 亘／①先日、ガールスカウトの皆様と二俣川のゴミ拾いに参加してきました。貴

重な体験をさせていただきました。②本日の卓話、倉本会員楽しみにしています。

五十嵐 正／4/20(金)より25(水)まで、ギャルリーパリ(みなとみらい線日本大通り駅徒歩3分)に於いて、ロータリアン展を開催致します。ご都合のよろしい方は是非おいで下さい。お待ちしております!②倉本さん、本日の卓話楽しみです。

佐藤 利明／①三寒四温とは言え天候が定まりません。体調の管理を第一に!②本日の卓話倉本さん、宜しく。

安藤 公一／①倉本さん、卓話宜しくお願ひします。②鶴ヶ峰稲荷が大谷選手の母上の実家の近くだと先週のテレビで知りました。

目黒 恵一／滝澤会長が無事手術が終わり、今はリハビリを頑張っているそうです。25日例会終了後にお見舞いに行きたいと思ひますので、目黒までお声掛けお願ひします。

後藤 英則／倉本さん、卓話楽し味です。

市川 慎二／倉本さん、本日は卓話宜しくお願ひ致します。

■卓話「小学生の頃」

倉本 宏昭



1月中旬のことでした、小学校の同級生の女の子(?)から電話がありまして、「私たちも、もう“歳”だから、これから先何回会えるかわからないし、身体もだんだん自由がきかなくなる。去年同級会をやったばかりだけど、その時先生から頂いたご祝儀がまだ残ってるので、このへんでもう一度来れる人だけでもいいから集まって同級会を開いて、これを最後にしましょう。ついては宏昭ちゃん、男の方の幹事やってよ…。」ということでした。

去年の5月、私たちは七十七歳の喜寿を記念して皆で集まって、その時小学校1・2年の時担任だった先生を招待しました。先生はもう100歳に近いお歳で、私たちの母親のよ

うなお歳ですがとても元気で、喜んできて下さいました。

私たちのクラスは卒業以来折に触れて同級会を開いて、その都度先生を招待したり、先生の嫁ぎ先の民宿で同級会を開いたり、何回となくそんなことをやってきました。

60歳の還暦の時は、先生の民宿での開催でした。先生は赤飯を炊いて歓迎して下さい、帰りにはみんなに持たせてくれました。

私は言われるまま、男子の同級生に電話や往復はがきで出席の可否を確認し、当日を迎えました。

そして、3月1日、小学校の同級会が開かれました。この年になると、既に11名は別の世界へ逝ってしまい、残った中でも足腰が不自由だったり何かしらの事情で来れない人数の方が多くなって、結局集まったのは男5人、女6人の11名でした。

場所は故郷、山梨県山梨市、旧岩手村にある田舎の小さな割烹です。去年は19人だったのが、8人は都合が付かずに来れなくなっていました。

当日私は、同級会が始まる前に実家や姉が嫁いでいる近所の親戚に顔を出してから、出たのですが、もう全員が来ていて、「よ〜っ…村長、遅いぞ」口の悪い何人かが一斉に言いながら迎えてくれました。

私の父は戦前からこの村の村長をしていたことから、私のあだ名はずっと、中学の時も「村長」でした。小学校の時は立場上、生真面目な訳ではなく、いつもいい子ぶっていて、それが女の子に好印象だったようで、小学校の時はかなり女の子にもてていたはずで

私が生まれたのは、我が国の国情が怪しくなってきた昭和15年7月、山梨県の当時の東山梨郡岩手村で、兄2人、姉3人の6人兄弟の末っ子。実家は代々貧乏庄屋だったんですが、明治の初期に火事に会って現在地に移り住んだそうです。

岩手村という処は、地形的には甲府盆地の北東部の小高いところにあつて、正面に富士山をながめる見晴らしがよいところですが、夏は蒸し暑く、冬は雪は少ないが北風が寒い典型的な盆地気候の場所のところ

実家のすぐ近くに笛吹川が流れていて、夏は毎日水遊びでした。泳いで対岸の畑に瓜やトマトを盗みに رفتたり、日焼けして真っ黒

になって遊んでいました。

笛吹川と言えば、武田信玄の菩提寺である恵林寺は笛吹川を挟んで向こう側、車で5～6分のところ。周辺には臨済宗の向嶽寺や真言宗の放光寺を始め国宝や国の重要文化財に指定されている神社仏閣が5カ所ほどある場所です。

そして村は、今では葡萄、桃、さくらんぼ、キウイフルーツ etc など果樹の栽培が盛んですが、当時は米と麦の専業農家がほとんどでした。

日本の敗戦から2年後、昭和22年小学校へ入学しました。1年生は総勢51名だったと思います。当時の校長先生の顔も名前も覚えていません。母親同伴でかしまって講堂で椅子に座って固くなっていました。ひげを蓄えた立派な村長さんが祝辞を述べた姿は覚えていますが何を言ったか覚えていません。その村長さんが私の父でした。

当時は広いと思っていた講堂には立派なピアノが置いてありました。後で聞くにはそのピアノは郷土出身で東武鉄道の中興の祖であり鉄道王で知られる初代の「根津嘉一郎翁」が郷土の小中学校に寄付されたのだと言うことです。

終戦直後のこと、都会から疎開してきていた仲間が多く、入学式には女の子は可愛い服装で、男の子もきちんとした身なりの子が多かったのを覚えています。地元の子は皆、兄や姉のお下がりや継ぎだらけのよれよれのズボンや上着。多分袖口には鼻を拭いた後も付いてたはずです。小学校に入学してすぐに担任になってくれたのが、大学を卒業したばかりの、眼鏡をかけた優しそうな女の先生でした。2年までその先生と一緒にでした。小さな村のこと、他にクラスはなく1年から6年までクラス替えなんてなく6年間一緒に学んだものでした。

1・2年の頃は食べるものもあまりない時代でした。私の家も決して贅沢ではないけれど、食べることにおいては、芋や麦の方が多いいご飯や、夜は、今では甲州名物になっている“ほうとう”を食べていました。給食なんかない時代で、優しい先生は常に生徒に目を向けていて、特に食べることについては、一人でも弁当がない子がいると、自分の分をその子に与えて自分は我慢する、そんなことが

度々ありました。そのうちにお昼には毎日弁当やおにぎりを多めに持ってきて、疎開してきていた子に少しずつ配ったりして、教室で生徒と一緒に昼を食べていました。

多分、私がそのことを母親に話したんだろうと思いますが、我が家でも、疎開してきている子たちにあげなさい…と、母親がお弁当の時でもおにぎりを一つ多く作ってくれて、都会から来た子供たちと弁当やおにぎりを分け合って食べたりしたものです。そのうちに、地元の子供たちも、何人かが少しずつ多めに弁当やおにぎりを持ってくるようになって、みんなで、分け合って食べるようになりました。そんな弁当やおにぎりも黒っぽい麦の入ったものや、米よりも芋の方が多いいことが当たり前でした。みんなであつという間に食べ終えて、わいわい遊んだもので、今のようなイジメなんて言う言葉さえ知らない時代でした。

この時期の先生の優しさは、多感な時期の少年少女の性格形成に大きな影響があったんだろうと思いますし、このお昼の弁当のことは、その後の同級会でも何回もみんなが口にしたのでした。

3年の時に先生は異動で他の学校に行ってしまう、その後は仲間と先生の家まで遊びに行つたものです。3・4年はおじいちゃん先生でした。授業の時も長いキセルを持っていて、そのキセルで、頭をたたかれると、殆ど、たんこぶができる痛さでした。5・6年の時は男の熱血先生で、スポーツに力を入れて、女子のドッジボールでは、東山梨郡内で優勝するくらいの実力でした。先生が野球をやっていたせいか、体育の時間は、固い硬球でノックを受けさせられたんだけど、学校には布製のグラブが3個しかなくて、親にグラブを買ってくれ…と頼んだけどダメで、素手でノックを受けるハメになって、それは私だけではなく、運良く学校のグラブを使えるときはよかったけど、殆ど素手で、その後の授業は拳をさすりながら受けたものでした。

6年の修学旅行はバスで「三浦半島・江ノ島鎌倉」でした。バスでみんなと一緒に一泊旅行なんて初めてだし、海を見るのも初めてでした。引率の先生がいないので、父兄同伴でした。初めて見た青い海に感動しました。遠くに見える大きな船から比べると漁船のような小さな船に乗って沖に出たとき、みんな

の様子を写真に写そうと、買ってもらったばかりの「スタート」というカメラで撮ったとき、近くに岩のような大きな船がいました。船長さんが、あの船は撮してはダメ!…というのです。その船は「ミズーリ号」という軍艦で、日本が戦争に負けた時、日本の偉い人が、あの船で負けたときの儀式をした、というようなことを説明してくれました。昭和27年の春のことでした。そんな仲間も小学校の6年を卒業するまでには、疎開してきていた仲間はそれぞれの故郷に戻ったりして37名になってしまいました。

卒業式の日夕方、近所の同級生が男女十数人我が家に集まって来ました。私の母親が作ってくれた赤飯や、女の子たちが持ち寄った巻き寿司などを食べながら、なんの話をしたのか今ではその当時来ていた仲間に聞いてもだれも覚えていないんですが、その内の6人は次の日の朝までこたつを囲んで、話に夢中でした。

この時季になると、神社やお寺の春祭りのシーズンです。丁度、今日、4月18日は向嶽寺のお祭りの日です。向嶽寺は640年ほど前に開山された臨済宗向嶽寺派の大本山で、内部は非公開で建物内部や庭園を拝観することはできません。ちなみに恵林寺は臨済宗妙心寺派で、乾徳山恵林寺が正式名称です。夢窓国師作で国指定の名勝の庭園を初めとして、有名な三門（山門ではなく）や資料館など見るものがいっぱいです。にぎやかなお祭りは武田信玄の命日の4月12日。この日は学校も半日で、子供たちはうきうき気分でお祭りに行ったものです。精進料理で有名な放光寺のお祭りは4月29日。子供の頃のことですから、建物や庭には全く興味がなく、オモチャや飴を売る出店を見て回るのが楽しかったんです。

地元の氏神様である大石神社のお祭りは5月5日です。この日は子供の日で学校はお休み。我が家は数日前からお祭りの支度が始まり、当日は朝から役場の人や学校の先生、近所の人たちが入れ替わり立ち替わり大勢集まってどんちゃん騒ぎです。母や姉や手伝いに来ていた近所のおばさんたちは大忙しの様子でした。その日だけは母が50円くれて、お祭りでは何を買おうか、お祭り会場と我が家を行ったり来たり…、しかし楽しい祭りはす

ぐに過ぎてしまいました。

丁度、春の祭りの時季は「麦踏み」をしなければいけない時季です。冬の間霜がおりて浮いてきた麦の根をしっかりと根付くように踏み締めてやるのですが、休みの日などは、姉たちと手分けして、10cmくらいに伸びた麦の芽を踏むのですが、立ちっぱなしで腰は痛くなるし、思ったより単調で時間がかかる作業です。午前中は遠くでにぎやかな太鼓や笛の音が聞こえてくるのをじっと我慢しながら踏み続け、午後は母親から30円もらってお祭りに駆けつけたものでした。数人の友だちと連れだって行くのですが、にぎやかなお祭りの人混みに紛れ込んでしまって、帰りはいつもそれぞれ一人でした。

そんな懐かしい故郷も、昭和29年に近隣の町村と合併して山梨市となり、小さな村の名前も消えてしまいました。稲や麦の田んぼも、今は葡萄棚に替わり、この時期になると新芽が吹き出してきます。桃の花はもう咲き終わり、各地のお祭りも殆ど今月いっぱい終わり、農家はこれからだんだん忙しくなります。世代は変わり、古い家は新しくなり、団地ができ、懐かしいあの頃の姿はこのあたりにはもう殆ど残っていません。

古き良き時代の話でした。

○資料

①恵林寺 甲州市塩山小屋敷2280

*1330年(688年前)開山。臨済宗妙心寺派

山号 乾徳山。

*応仁の乱で荒廃するが、甲斐武田氏の菩提寺に定められて再興。

*天王10年(436年前)3月武田勝頼は天目山で自刃。武田家は滅亡。

*同年4月 織田勢の焼き討ちに遭い、快川国師は「心頭滅却すれば火も自ずから涼し」の言葉を残し、百人以上とも言われる僧侶等と共に炎に包まれた。

*信長は同年6月本能寺の変で討ち死に。

*後、徳川家康の手によって復興。

*夢窓国師作の庭園は国指定の名勝、他見るべきもの多数。

②向嶽寺 甲州市塩山上於曾2026

*1380年(638年前)開山。山号 塩山

臨済宗向嶽寺派。

*国宝や国指定の重要文化財、国指定の庭園等は限られた日以外は見ることはできない。

- ③放光寺 甲州市塩山藤木 2438
 * 1184年(834年前)開山。真言宗智山派。
 山号 高橋山。
 * 数々の国宝や重要文化財がある
 春と秋の精進料理が特に有名(要予約)。
 近隣施設
 * 根津公園、根津記念館、
 フルーツ公園から見下ろす桃の花(今年はもう

おしまいです)
 その他の神社仏閣多数。

■次週の卓話

5/2(水)休会
 5/9(水)クラブフォーラム 市川 慎二会員
 「会費について」

週報担当 吉原 則光

2018-19年度 横浜旭RC組織表

| | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 会長 市川慎二 | SSA 後藤英則 | 理事 田川富男 |
| 会長ノミニー 佐藤真吾 | 副SSA 内田敏 | 理事 安藤公一 |
| 副会長 田川富男 | 副SSA 齋藤善孝 | 理事 五十嵐正 |
| 幹事 安藤公一 | 理事 市川慎二 | 理事 後藤英則 |
| 副幹事 大川伸一 | 理事 滝澤亮 | 理事 目黒恵一 |
| 会計 五十嵐正 | 理事 佐藤真吾 | 理事 大川伸一 |
| | | 会計監査 今野丁三 |

| 委員会 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | | | | |
|-----------------------|----------|-------|-------|------|-------|------|------|
| ク ラ ブ 奉 仕 | | 田川富男 | 佐藤真吾 | | | | |
| | 出席 | 齋藤善孝 | 大川伸一 | 吉原則光 | 須藤亘 | 宋謹衣 | 柳沢哲也 |
| | 親睦 | 北澤正浩 | 後藤英則 | 兵藤哲夫 | 目黒恵一 | 岡田清七 | 倉本宏昭 |
| | | | 青木邦弘 | 大川伸一 | 宋謹衣 | 柳沢哲也 | |
| | 会報 | 倉本宏昭 | 内田敏 | 今野丁三 | 関口友宏 | 須藤亘 | |
| | 雑誌・研修・広報 | 新川尚 | 齋藤善孝 | 岡田清七 | 二宮麻理子 | 滝澤亮 | |
| | 増強・分類 | 兵藤哲夫 | 内田敏 | 佐藤利明 | 太田勝典 | 二宮登 | |
| | 選考 | 関口友宏 | 吉原則光 | 太田幸治 | | | |
| | プログラム | 佐藤真吾 | 田川富男 | | | | |
| 奉 仕 委 員 会 | 社会奉仕 | 目黒恵一 | 北澤正浩 | 五十嵐正 | 福村正 | | |
| | 職業奉仕 | 大川伸一 | 増田嘉一郎 | 関口友宏 | 今野丁三 | | |
| | 青少年奉仕 | 滝澤亮 | 新川尚 | 青木邦弘 | 後藤英則 | | |
| | 国際奉仕 | 二宮麻理子 | 青木邦弘 | 二宮登 | 宋謹衣 | | |
| ロータリー財団 | 太田勝典 | 田川富男 | 滝澤亮 | | | | |
| 米山生記念奨学 | 青木邦弘 | 二宮麻理子 | 新川尚 | | | | |
| 災害対策 | 五十嵐正 | 安藤公一 | 増田嘉一郎 | 新川尚 | 内田敏 | 岡田清七 | |
| | | 関口友宏 | 矢田昭一 | 太田幸治 | 佐藤利明 | 北澤正浩 | |
| チャリコン | 新川尚 | 福村正 | 佐藤真吾 | 須藤亘 | | | |

**2018~2019年度 横浜旭ロータリークラブ
第三回 理事会議事録**

| | |
|---|---|
| 日時 平成 30 年 4 月 11 日 (水) 13 時 30 分より | 出席者 市川慎二 佐藤真吾 田川富男 安藤公一 五十嵐正 大川伸一 |
| 場所 例会場 | 欠席者 滝澤亮 後藤英則 目黒恵一 |

【報告事項】

- ① 次年度地区関係
 - ・ガバナー 金子大 (横浜中RC)
 - ・ガバナー補佐 増田嘉一郎 (横浜旭RC)
 - ・地区方針「それぞれが輝くロータリー」
自らの行動でクラブの可能性を広げよう
- ② 次年度主要行事
 - ・ガバナー公式訪問 8月8日
 - ・ガバナー補佐来訪時のクラブ協議会 7月25日
 - ・地区大会 11月9日～10日
 - ・IM 未定

【審議事項】

- 1 **クラブ協議会開催日時について**
 - 第1回 4月25日(水) 13時30分～ 例会場
 - 第2回 6月13日(水) 13時30分～ 例会場
 - 第3回 7月25日(水) 例会時 (ガバナー補佐訪問)
 - 第4回 1月30日(水) 例会時
 - 第5回 5月22日(水) 例会時 承認
- 2 **次年度休会日について**

8月15日・10月31日・12月26日・1月2日・5月1日 承認
- 3 **移動例会日について**
 - 8月29日(水) 夜間移動例会
 - 11月14日(水) を11月10日(土) 地区大会
 - 12月19日(水) を12月15日(土) クリスマス例会
 - 6月26日(水) 夜間移動例会 (最終例会)
 - IMは日時決定後にお知らせ 承認
- 4 **情報集会について**

前期、後期の年2回開催 承認
- 5 **体験例会について**

開催の目処として第1回目9月末頃、第2回目4月末頃とする。
増強委員会とプログラム委員会が共同して企画立案し、理事会でも支援していく。 承認
- 6 **組織表一部改正**

別紙参照 (本山さん転勤の為) 承認
- 7 **次年度会長方針 (案)**

「ロータリーの奉仕を通じて地域を笑顔に」 承認
- 8 **クラブ会費の見直しについて**

臨時総会により否決となり継続審議とした。
5月9日(水) 例会時に会費についてのクラブフォーラムを行う。 承認

以上